日本初*

日本で初めて、200ml流動食の容器に ワンステップパックをシリーズで採用

アイソカルやペプタメンなど、濃厚流動食のシリーズで多く使われる200mlサイズのパッケージにワンステップパックを採用しました。医療機関を始め、介護施設や在宅などさまざまな場所で、より手軽で衛生的にお使いいただけます。

*200ml流動食として（ネスレ調べ）



◎開封後は横置きにしないでください。もれの原因となります。

キャップに関するご注意

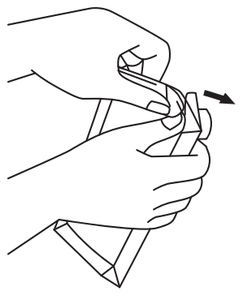
◎飲み口の内側に、開封用の歯がついています。ケガをしないようご注意ください。

◎飲み口の内側に指を差し込まないでください。開封用の歯に触れ危険です。

◎容器を解体する際、口栓の裏側に開封用の歯がついていますので、ご注意ください。

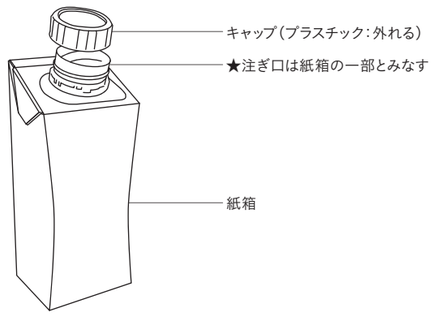
キャップを外したい場合

容器をたたんだ後に口栓を後ろから押すと簡単に取り外すことができます。



◎廃棄の際は各自治体の区分に従い、適切に処分してください。

◎プラスチック製注ぎ口のように容易に分離できないものは、分離できないかたまりをひとつの容器包装とみなします。



（経済産業省『プラスチック製容器包装および紙容器包装への識別表示の義務』より引用）

2019年10月発行

ネスレ日本株式会社
ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20
https://www.nestlehealthscience.jp/

Ⓡ登録商標　A0274-01



忙しく動き続ける医療・介護の現場

食事準備に
時間がかかる

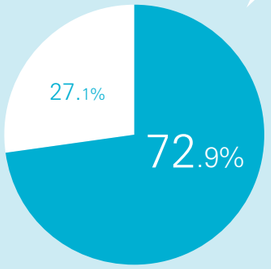
介護を受ける方
とのコミュニケーション
時間がとれない

早朝出勤や
残業が多い

経管栄養の
スケジュールが過密

記録作業が忙しい

利用者の入浴時間が
間に合わない



『平成30年度
「介護人材」に関するアンケート調査の結果について』
独立行政法人 福祉医療機構
(2019年3月実施)

73%の施設が 人材不足を実感

医療や介護の現場で問題となっている人材不足。2019年の調べでは、実に73%の施設が人材不足を実感すると回答しました。2018年の調べでは64%であったことから、医療・介護現場の人材不足は年々深刻化していると言えます。



■従来の流動食（紙パックタイプ）の供与手順



従来の製品

上部を広げ、消毒されたハサミで切る

ハサミを拭いて消毒

流動食を供与



広げて、切って、注いで、消毒する。
その作業工程の時間を ワンステップに変えられたら...

シビアな時間管理が要求される医療・介護の現場。なかでも、流動食（紙パックタイプ）の供与は、パックの上部を広げて、消毒されたハサミで切り、使用後のハサミを拭いて消毒するなど、一人分であっても時間がかかってしまいます。これをワンステップに見直すことで、作業工程の時間を短縮でき、新たな時間を生み出すことができます。

ネスレ ヘルスサイエンスが、
栄養管理の問題解決を
サポートします。

NEW



軽い力で開けられてそのまま注げる ワンステップパックを採用しました。

ワンステップパックの特長

1. つかみやすく、軽い力で開けやすい形状
2. 1回転させるだけのワンステップで開封できる
3. いたずら防止リングが目立つため、開栓前の確認が容易
4. ハサミが不要で衛生面にも配慮

準備がスムーズになって生まれた時間を あなたの手を待つ人のために 活用しませんか。

介護やケアを受ける方との
コミュニケーション向上に
貢献します。



interview

ふれあいがひろがる 流動食の新しい選択肢だと思います。

従来の流動食のパックでは開封にかかる手間やハサミの消毒など、時間と衛生面への配慮が必要でした。今回の新しいワンステップパックであれば、簡単に開封ができるので時間の短縮が期待できそうです。ハサミが不要な点も衛生的で安心できます。日々忙しい看護師にとって業務体制の改善につながることや、何よりも看護師が大切にしている介護を受ける方とのコミュニケーションに時間を回せることは大きなメリットになると思います。



聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
急性・重症患者看護専門看護師
森 みさ子 氏